

NEWS LETTER

特別支援学校就労応援団とやまニュースレター・vol.9 令和5年6月発行

今年度も「特別支援学校就労応援団とやま」に登録いただいている企業と学校、教育委員会が連携し、特別支援学校で学ぶ生徒の働く力の育成と就労を推進していきたいと考えています。
今年度もご協力よろしくお願ひします。

事例紹介 -企業の定着支援の取組み-

※富山県障害者就労定着サポーターレポートより

【株式会社スズキ部品富山（製造業）】

特別支援学校卒業生Aさん

- ・就業体験3回を経て、就労へ
- ・パート社員（7H/D）

<性格>

○明るく、真面目で慎重

●変化に対して緊張、考えすぎて悩む

〔業務内容〕

- ・完成品箱の洗浄
- ・部品並べ
↓（慣れるに従い）
- ・自動加工機への定時材料投入

-企業の取組み①-

- ・初年度の目標を『仕事に慣れること』と本人と設定。
- ・面談を年4回実施
体調・就業状況の確認、会社の評価や提案を伝えている。
本人の要望等も聞き取っている。
- ・勤務等にかかることについて、保護者や学校とも丁寧に相談。

○就業状況は順調

●4回目の面談時

【2年目の目標確認】

- ・勤務時間の変更
7時間⇒8時間
- ・自動車免許の取得

○2年目 順調にスタート

↓

●9月頃 体の不調により欠勤
過敏性大腸炎、うつ初期
状態の診断がされる。

-企業の取組み②-

- ・Aさんは保護者には素直に気持ちを話していることが分かったため、保護者との連絡・相談をこれまで以上に頻繁に行う。
- ・少しの休職（2週間）を経て、勤務時間を相談
→半日勤務から始め、様子を見ながら30分単位で延ばしていき、7時間勤務に戻す。
- ・自動車免許の取得は、しばらく中止
- ・担当者は、学校とも連絡・相談を行い、情報を共有

（担当者の捉え）

⇒勤務時間増と自動車免許の取得を同時に進めたため、負荷がかかりすぎたのではないかと。
⇒本人は張り切っていたが、大変悩んでいたのではないかと。

-企業の気付き-

- ・本人の心情や生活状況について細やかに情報収集し、慎重に進めることが大切
- ・初年度だけでなく、2年目以降も面談を継続することが必要

○勤務状態が回復

<勤務時間>

- 12月⇒6時間勤務となる。
- 1月⇒7時間勤務となる。

○自動車免許取得も進んでいる。

★担当者と関係者との連携、協力により、就業を継続することができています。



「特別支援学校就労応援団とやま」登録企業による学校見学会

- ・登録企業に、特別支援学校高等部生徒の授業の見学や、就業の事例を研修する機会を提供します。
※案内は各校より送付いたします。

【今年度の各校の学校見学会実施予定】

富山聴覚総合支援学校	9月22日（金）	高岡高等支援学校	5月17日（水）
高岡聴覚総合支援学校	2月2日（金）		9月20日（水）
富山高等支援学校	7月13日（木）	富山総合支援学校	9月26日（火）

富山県教育委員会県立学校課特別支援教育班 発行

TEL 076-444-3451 FAX 076-444-4437

★登録企業の詳細はこちらから

⇒<https://www.pref.toyama.jp/3003/kurashi/kenkou/shougai/sha/tokubetsushien/kj00022790.html>

「自分たちに何ができるだろう…」とお悩みの企業様。まずは、特別支援学校にお気軽に声をおかけください。そして、生徒の姿や学習の様子をご覧ください。